
2007年度 第6回 音環境運営委員会 議事録

記録:坂本

- A. 日 時 2008年1月25日(金) 17時00分～19時00分
- B. 場 所 建築学会会議室#202
- C. 出席者 赤尾伸一, 井上勝夫, 岩瀬昭雄, 岩本 毅(濱田委員代理), 安藤 啓, 大鶴 徹, 河井康人, 古賀貴士, 岸永伸二, 坂本慎一, 佐久間哲哉, 田端 淳, 中澤真司, 平松友孝, 吉村純一, 安岡博人(敬称略)
- 欠席者 濱田幸雄, 福地智子, 吉久光一(敬称略)
- D. 提出資料
- No.6-0 2007年度 第5回 音環境運営委員会議事録(案)(坂本)
- No.6-1 2007年度第6回環境工学本委員会議題(大鶴)
- No.6-2 調査研究委員会主催 催し物 実施計画書(大鶴)
- No.6-3 日本音響学会建築音響研究会(吉村)
- E. 審議事項
1. 前回議事録確認(資料No.6-0)
 - ・承認された.
 2. 環境工学本委員会(2008.1.25)報告(資料 No.6-1)(大鶴主査)
 - 2008年度予算配分 環境工学全体でマイナス4.37%, 576,000円の減額となっている. 若手奨励研究特別委員会への予算措置の影響.
 - 小委員会活動成果報告提出依頼 小委員会主査に提出依頼. フォーマット:活動成果.doc. 締切:2月15日(金). 環境工学委員会独自のフォーマットが追加されています. 設置期間の中間年度および最終年度にあたる小委員会は2枚目の自己評価を記入してください. ※昨年の活動成果報告は下記HPに掲載されています. <http://news-sv.ajj.or.jp/academic/seika/06seika/index.htm>
 - 2008年度国際交流振興基金援助事業申請について 申請は3月末締め切り, 総額100万円の援助.
 - 2007年度大会発表登録費未納者 連名者が登録費未納だと発表できない. 来年度は締め切りが日曜日に設定されているので, 連名者(発表者も)の登録費支払いに注意すること.
 - 2008年特別研究委員会テーマ選考結果 7件応募のうち3件採択.
 - 学術推進委員会の改革具体案 3つの具体案が示された. ①若手研究による活性化, ②社会貢献, ③議事運営の効率化(幹事会制等)
 - 建築環境工学実験用教材 進捗状況. 2008年10月刊行(後期授業に間に合わせる)を目標.
 - 環境工学用教材(環境編・設備編) 進捗状況. 関連して, 当該教材の利用方法, 改訂の方向性について, 音環境分野としての立場からどのように考えるか, 議論された.
 - 大会再分類・細々分類の対応表 大会発表申し込み時点での調整について. 5/9 プログラム編成会議, 当日10時より, 運営委員会主査による調整会議が行われる.
 - 2008年度環境工学委員会予算 音環境は709,000円(前年度比マイナス9.3%, 73,000円の減額)となっている. 大会発表件数の減少などが影響か?
 - 委員の推薦関係 音環境の論文集委員が交代. 人選は大鶴主査一任. 査読委員, 推薦があれば主査まで連絡願いたい.
 - シンポジウム実施報告・実施計画 12月26日大隈講堂見学会は77名参加, 盛況であった旨報告された. 3月28日には音声伝送に関するシンポジウムが計画されている.
 - 環境工学ワークブック編集・出版について(久野委員長) 教材委員会から発議されたもので全5冊を予定.

大学での導入教育的な意味合いの書籍として位置付け。音環境分冊の原稿案を2～3名で読み、コメントを頂きたい。担当の人選は大鶴主査に一任。

3. CASBEE 対応について(平松委員)

データをデジタル化する作業までを行っており、今後、具体的な議論と作業を行う。

4. 小委員会・WG 活動報告

固体音小委員会(平松主査)

- ボールによる床衝撃音の評価に関する音源収録を、住宅展示場(2箇所)、小林理研実験室について終了。次は実際の現場での測定を行う。広い範囲の床衝撃音レベルにわたって網羅的なデータをとることができた。

集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会(濱田主査代理・岩本)

- 11/21に委員会を開催し、評価法に関する議論を行った。

建築音響測定法小委員会(赤尾主査)

- 12/9に委員会を開催。実騒音を用いた測定法について文献調査を行っている(海外規格・ASTM等)。

室内音響小委員会(岸永主査)

- 12/7に委員会を開催。次年度の活動計画について議論。①音声伝送シンポジウムを10月頃、②スピーチプライベートに関するシンポジウムを3月頃(次年度)、③小委員会直営のシンポジウムとして境界面の拡散関係で企画する方向で議論した。

音響数値解析小委員会(佐久間主査)

- 吸音材料がある空間の解析を次のテーマとして考えており、実測データ取得のための実験計画について議論した。その他、文献調査のフォーマットを作成した。

企画・広報 WG(安藤主査)

- 2/9いわきアリオスホール見学会。参加者は建築学会HPにて申し込みをしてください。関連して大鶴主査よりシンポジウムの主催、共催に関する本委員会の方針が確認された。「共同主催、協賛等のいろいろな表記があるが、それらは全て共催に統一する。」

アカデミックスタンダード(佐久間委員)

- 2/9に最後の打合せがあった。3/22に建築会館ホールにて講習会を開催する。

5. 他学会の予定

- 日本音響学会建築音響研究会:2/2 アクトシティ浜松, 3/11 沖縄産業支援センター(騒音・振動研究会と共催), 3/28 建築会館会議室(音声伝送性能設計・評価に関するアカデミックスタンダード刊行を目指して)

6. 次回の予定

- 次回は3月27日(木)17:00～ 建築会館会議室

2007年度 音環境運営委員会予定		
第1回	2007.4.10(火)	(実施)
第2回	2007.5.15(火)	(実施)
第3回	2007.7.23(月)	(実施)
第4回	2007.9.21(金)	(実施)
第5回	2007.11.21(水)	(実施)
第6回	2008.1.25(金)	(実施)
第7回	2008.3.27(木)	(決定)